

令和 6 年 2 月 21 日 メルボルン交流抄

「特別編: 2024 年天皇誕生日祝賀レセプション」

2 月 15 日、在メルボルン総領事公邸において、300 人近くのゲストをお招きして 64 歳の天皇陛下の誕生日をお祝いする会を開催しました。この日は天気にも恵まれ、しかも最高気温 22 度という晩夏の涼しく快適な夕べとなりました。ゲストの方々皆様が笑顔で帰られる楽しい集いになったと思います。まずは、総領事館を代表して、ご参加いただいた全てのお客様、そして御協賛・御協力していただいた以下の各関係者・関係企業に心より御礼申し上げます。

今回のレセプションでは、オーストラリアの多くの人々に伝統的な日本の文化・芸術とともに新しい日本の姿を見ていただき、「日本を訪れたい」と思っていたいただければ幸いという気持ちで臨みました。なお、今年も QR コードを使って自分の携帯電話でスポンサーなどがわかるように工夫しました。

まず、大行瑞乃さんのすばらしいお箏の演奏、いけばなインターナショナル・メルボルン（小林伸子会長、カレン直美さん、カトリーナ・カニンハムさん）の力強く雅な生花。今回も、豪州日本美術刀剣保存会から借り受けた 300 年以上も前の見事な鎧と兜のフルセット 1 体などを特別展示。日本の地方自治体からは、岐阜県、愛知県、津軽地方（青森県）、成田市（千葉県）も参加。一昨年 11 月にオープンしたジブリ・パーク、EXPO2025、メルボルン大阪ダブルハンド・ヨットレースの広報も行いました。

式典は、和太鼓りんどう（坂本順子さん、手塚あきこさん、大野さやかさん）の和太鼓演奏、それに続く、メルボルン弓道会（千葉みゆき四段、タラ・コリムさん、ダニエル・ベリーさん、デスクロークさん）による巻藁射礼の儀式で始まりました。オペラ歌手の鳥居彩良（サイラ）さんの豪日両国国歌斉唱。総領事の挨拶。ビクトリア州首相代行のニック・スタikos 首相政務官、州野党自由党を代表してデイビット・サウズウィック副党首から挨拶していただき、総領事夫人も加わり 4 人での乾杯によって宴もたけなわとなりました。

裏千家淡交会メルボルン協会の方々（グリーンウッド律子さん、リング彩さん、長坂章子さん、関桜子さん、ロス・スミスさん、ホームズたまみさん）による茶道のデモンストレーションも大盛況でした。

岐阜県、青森県、成田市場からは地元製品の紹介、試食・試飲が行われました。特に岐阜県の飛騨牛、いちごは今年も大好評でした。飛騨牛は、今年も荒金育英シェフ（日本食普及の親善大使）が炭火で調理し、ゲストを魅了していました。古田肇岐阜県知事、今年もありがとうございます

ざいました。また、スワンストーン通りの人気の店、小樽のルタオからはチーズケーキの試食を提供。北海道のミルクとビクトリア州のクリーム・チーズのとろけるようなコラボはいつもながらに最高でした。

公邸の前にはトヨタの水素バス、入り口車寄せ付近にトヨタの水素燃料電池車、三菱自動車のプラグインハイブリッド電気自動車等の展示。水素バスは初めての公邸行事でのお披露目であり、水素社会到来を告げる展示となりました。

当地日系企業のアサヒ、麒麟、サッポロからはビール等、伊藤園からは抹茶スラシー、ヤクルトからは乳酸菌飲料、小林製薬からはヘルスケア用品を提供していただき大好評でした。暑さに備えて用意していただいた、JAL のオリジナル団扇も癒しの「おもてなし」の品として人気を博していました。

食事は大津尚也公邸料理人が腕を振るって、当地の食材を活かした日本食を味わっていただきました。メニューは、ひろうす、鰻巻、蒸し鴨などでした。

最後に、多くの方々から、楽しくかつ充実したレセプションであったとのことのお言葉をいただいております。たとえば、あるお客様からは、「レセプションは盛会で、総領事館の皆様のお心遣いがあちこちに伺え、お客様達も楽しまれて、おめでとうございます」といった嬉しい感想もいただきました。皆様、本当にありがとうございました。





(写真提供: Risako Yamanaka)

